

大谷学会

◇研究発表会

十月二十三日(木) 午後一時

於、尋源講堂

「『俱舍論』における本無今有論の背景」

本学講師 宮下晴輝

「本願寺の年中行事」

本学講師 草野顕之

「トーマス・マンとパロディ」

本学講師 禿 憲仁

「教育学成立の要件と規範の問題」

本学助教授 土戸敏彦

「『信文類』の課題」

本学教授 小野蓮明

終了後、第三会議室において発表者を囲んでの懇談会を催した。

真宗総合研究所

◇海外仏教研究研究会

*十月十六日(木) 午後四時十分

於 会議室(研究所内)

「ブータンの仏教事情」

フランス国立中央科学研究所研究員

海外仏教研究嘱託研究員 今枝由郎氏

*十一月四日(火) 午後四時十分

於 会議室(研究所内)

「現在のアメリカに於ける仏教事情」

Chicago Buddhist Temple 久保瀬暁明氏

*十一月十三日(木) 午後二時三十分

於 会議室(研究所内)

Dr. Thomas Kasulis氏 (Northland College)を囲んで、仏教をテーマに

座談会形式で行なわれた。

◇研究所委員会

*十月七日(火) 十二時十分

於 会議室(研究所内)

一、『研究所紀要』第四号の発刊について

*十月二十日(月) 十二時十分

於 会議室(研究所内)

一、昭和六十二年一般研究の募集について

真宗学会

◇第三回真宗学会研究例会

十月七日(火) 四時十分より

於 一三〇五教室

○「夢告諭」について

本学講師 井上 円氏

○「差異」と「差別」

博士課程二回生 藤場俊基氏

○『入出二門偈頌』の研究

—— 四章の関連性を中心に ——
博士課程一回生 佐藤智水氏

◇真宗学会大会

十月二十四日(水) 二時三〇分より

於 聞思館講堂

○親鸞の仏弟子観

本学教授 広瀬 果氏

○親鸞の思想形成における被差別民の役割

大阪府立今宮工業高校教諭

河田光夫氏

◇修士論文中間発表会

十一月十三日(木) 四時十分より

於 一三〇三教室

○浄土の諸問題

須藤了深氏

○真実の行

木越 康氏

○覚如・存覚二師の真宗教化

村上宗祐氏

○願生の仏道

渡辺智洋氏

◇第四回真宗学会研究会

十一月十四日(金) 四時十分より

○大乘の菩薩と実業の凡夫

博士課程三回生 高柳正裕氏

○清浄有戒者

本学講師 加来雄之氏

仏 教 学 会

◇研究発表例会

十月二日(木) 午後四時十分より

『ニカヤに於ける戒について』 於 尋源講堂

博士後期課程二回生 橋本篤司氏

『華嚴の空觀の一側面』

教授 鍵主良敬氏

発表後、第一研究室分室1にて座談会を

開き、活発な質疑応答があった。

◇仏教学会公開講演会

十月二十一日(火) 午後四時十分より

於 尋源講堂

講師 京都産業大学教授 一郷正道先生

講題 『瑜伽行中觀派の思想』

講演後、ホテルフジタにて懇親会を開

き、一郷先生の学位取得をお祝した。

◇學術懇談会

——K. R. Norman 先生を囲んで——

十一月十九日(水) 午後三時より

於 京大会館二十二号室

講師 Dr. K. R. Norman

Pali Text Society 会長

Professor of the Faculty of

Oriental Studies, Cambridge

University 英国学士院会員

講題 Asoka's Schism Edited

講演後、同会館にて懇親会を開いた。

共催 パーリ学仏教文化学会

大谷大学仏教学会

仏教大学学会

京都大学インド・仏教学会

西洋哲学学会

倫理学会

日、新講堂多目的ホールにおいて、西洋

哲学会・倫理学会の協賛により日本現象

学会第8回研究会が開催された。

西洋哲学学会

◇訓覇ゼミ研究旅行

十月十四日(火) 十五日(火)

於 京都府立ゼミナールハウス

訓覇教授、須藤講師をはじめ訓覇ゼミの

三、四回生あわせて三十名の参加のもと、

卒論中間発表会が行われた。

国 史 学 会

◇史跡踏査(大学院主催)

*十一月九日(日)

場所 円成寺・柳生街道方面(雨天のため、

円成寺見学ののち、正倉院展—

奈良博—に変更)。

参加者 五島特修員他、大学院生・学部

生八名。

日本仏教史学会

◇二回生一夜研修会

十月二十五日(土) 二十六日(日)

◇十一月二十九日(土)、三十日(日)の両

於 中島郡詰所
参加 佐々木(令) 助教授、学生十八名。

東洋史学会

◇卒業論文中間発表会

十一月十三日(木) 午後一時より

十四日(金) 午後二時三十分よ

於 尋源講堂

参加者 野上俊静名誉教授・藤島教授
・大内専任講師・桂華助手・河上特修
員他、院生・学生六十余名。

兩日にわたり二十六名が発表し、活発な
意見交換がなされて有意義な発表会とな
った。

ドイツ文学会

◇日本独文学会京都支部

秋季研究発表会及び総会

十一月二十九日(土) 午後一時半より

於 博綜館第二会議室(本学当番校)

研究発表

司会 友田孝興氏

『公子ホムブルク』の多義性について

加藤丈雄氏

『トララー』一九六八年——ドルストの演
劇と政治 酒井謙一氏

多数の京都支部会員及び本学のドイツ文
学会員の出席のもと研究発表に引き続き活
発な質疑応答。その後、総会、更に午後五
時半より新講堂五階和室にて懇親会。午後
八時、盛会のうちに閉会。

短期国文科

◇秋季史蹟見学ならびに補導懇談会

* 一回生 A B クラス。十月二十九日(水)

宇治・黄檗方面。片岡教授、石橋助教授、

後小路助手。学生六十名。

* 一回生 C D クラス。十月三十日(木)

嵯峨野方面。喜多川助教授、沙加戸専任

講師。学生五十名。

* 二回生 C D クラス。十一月二十六日(水)

石山・三井寺方面。入部助教授、沙加戸

専任講師。学生四十五名。